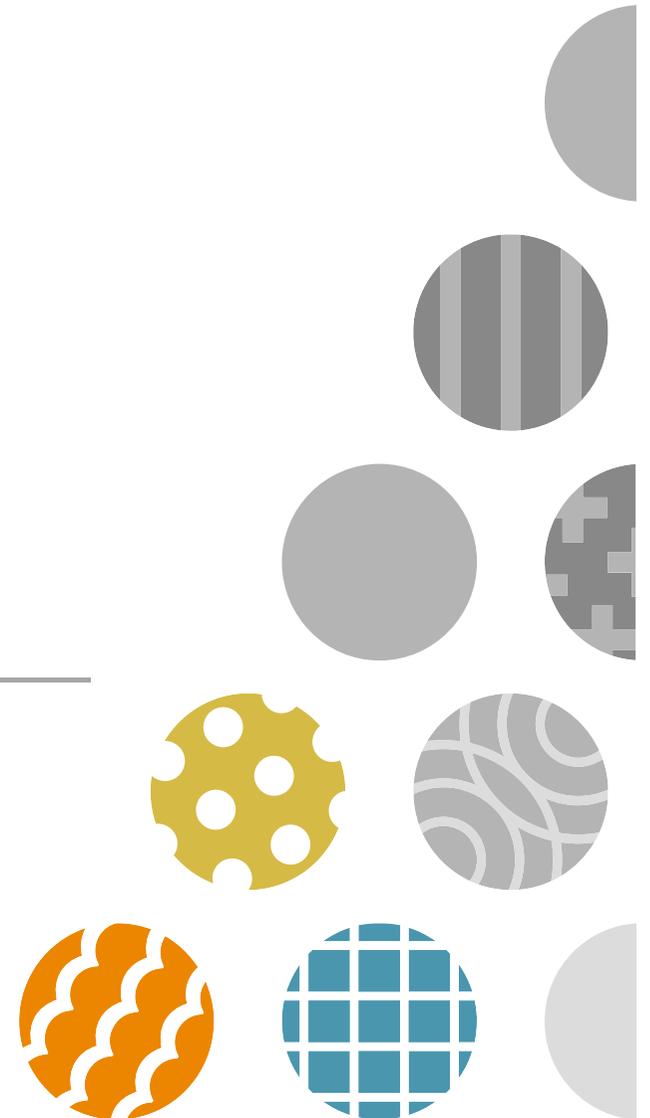


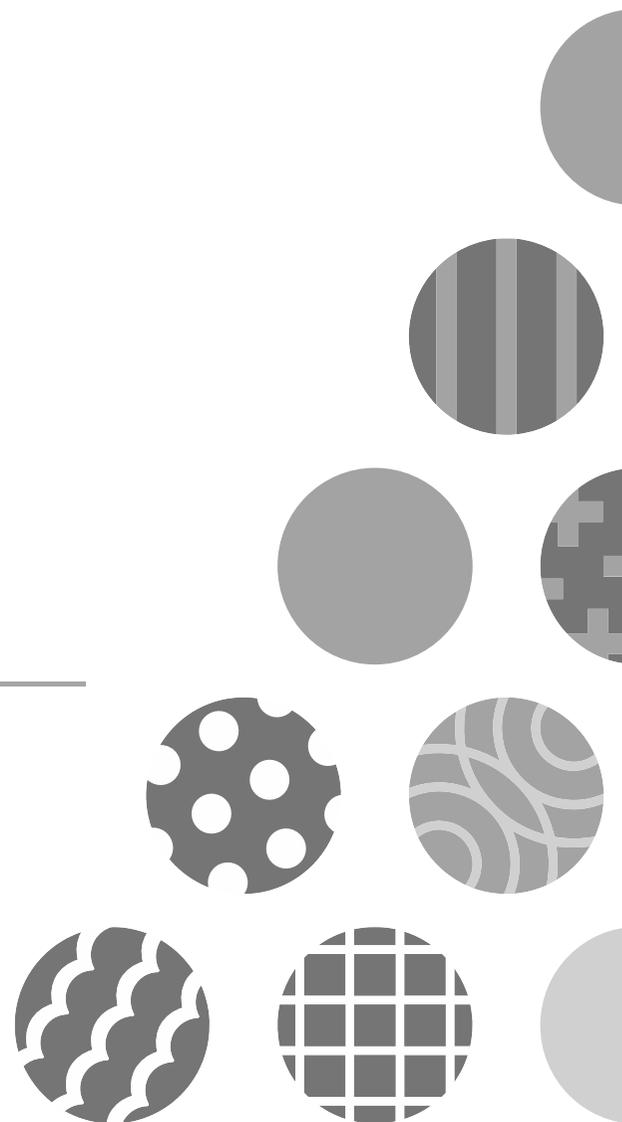


京都生協での脱炭素の取り組み ～店舗事業を中心に～

京都生活協同組合 2024年2月1日 サステナビリティ推進部



1. S D G s と京都生協



京都生活協同組合の紹介



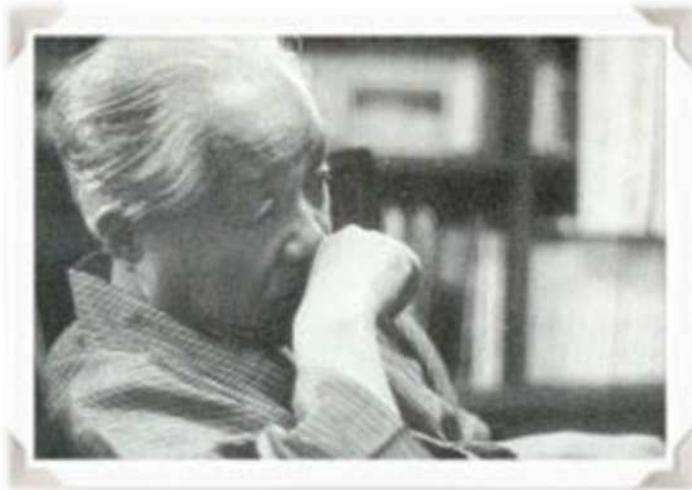
- 1964年に、物価の高騰などで暮らしに不安が広がる中、「消費者がお互いのくらしを良くするために、助け合いの組織として、頼もしき隣人となりましょう！」との呼び掛けで誕生しました。
- 事業内容／宅配、店舗、共済、福祉・介護、葬祭など
- 組合員／京都府下56万人
- 事業所／支部10、店舗18、福祉6、葬祭1、関連会社5社
- 供給高／805億円



1964年創立

公害

物価高騰



初代理事長 能勢克男



歴史 ~今の時代のスタンダードに



**1996年
全店レジポリ袋有料化**

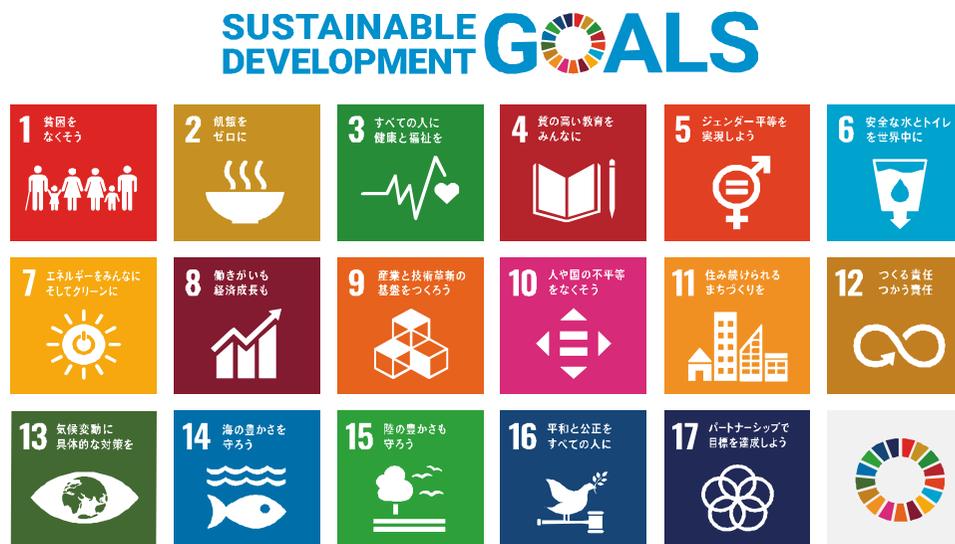


**2000年
食の安全を求める取り組み**

**1990年代
環境政策・福祉政策**

Sustainable Development Goals

2015年に開催された国連サミットで「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。2030アジェンダは、2016年から2030年までの国際社会共通の目標を掲げています。この目標が、17分野の目標、169のターゲットからなる「持続可能な開発目標」=SDGsです。



なぜSDGsが必要になっているのか？

地球・社会は、さまざまな問題を抱え
危機にさらされています

●出しすぎー地球温暖化問題



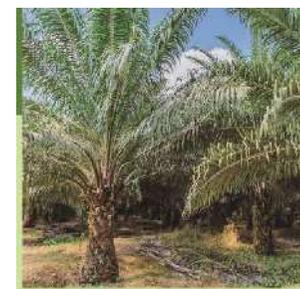
●取りすぎー森林資源の減少、
海洋資源の減少



●捨てるすぎー食品廃棄物の問題、
プラスチック問題



●サプライチェーンにおける
労働問題・人権問題



- SDGsとは、これらの問題に対して今、全世界が取り組むべき課題として、2015年9月に国連において採択された目標です。
- 「誰一人取り残さない社会の実現」や「持続可能な地球環境」を目指し、将来にわたってこの地球で人間らしく生活し続けるために必要な17の目標が掲げられています。
- 生協ではSDGsの趣旨に賛同し目標の実現に貢献するため、2018年6月、日本生協連第68回通常総会にて「コープSDGs行動宣言」を採択しました。
- 京都生協も、日本生協連や全国の生協とともに「コープSDGs 行動宣言」の7つの取り組みを通じて、引き続き持続可能な社会の実現を目指します。

私たちは、以下の7つの取り組みを通じて、
世界の人々とともにSDGsを実現していきます

持続可能な生産と消費のために、商品とくらしのあり方を見直していきます

12 つくる責任 つかう責任

健康づくりの取り組みを広げ、福祉事業・助け合い活動を進めます

3 すべての人に健康と福祉を

誰もが安心してくらし続けられる地域社会づくりに参加します

11 住み続けられるまちづくりを



5 ジェンダー平等を 実現しよう

ジェンダー平等 (男女平等) と多様な人々が共生できる社会づくりを推進します

16 平和と公正を すべての人に

核兵器廃絶と世界平和の実現をめざす活動を推進します

1 貧困を なくそう

世界から飢餓や貧困をなくし、子どもたちを支援する活動を推進します

7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに

13 気候変動に 具体的な対策を

地球温暖化対策を推進し、再生可能エネルギーを利用・普及します



- ・協同組合間協同
- ・地域団体、NPO、行政、自治体などとの連携



- ・ヒロシマ・ナガサキのピースアクション
- ・沖縄戦跡基地めぐり



- ・森林環境配慮型製品の開発と普及 (FSC®など)



- ・海洋環境配慮型製品の開発と普及 (MSCなど)



- ・事業での温室効果ガス排出削減
- ・家庭での削減啓発



- ・産直
- ・エシカル消費推進
- ・プラスチック問題への対応



- ・地域見守り活動
- ・買い物困難者支援
- ・被災者支援活動



- ・ユニセフ支援活動
- ・フードドライブ



- ・WFP学校給食プログラム支援



- ・福祉事業
- ・介護食品の供給
- ・ピンクリボン運動支援



- ・食育
- ・消費者市民社会づくりの活動実施



- ・男女共同参画に向けた取り組み



- ・コアノンスマイルスクールプロジェクト



- ・再生可能エネルギーをつくり、使い、ひろげる取り組み



- ・健全な経営
- ・ワークライフバランスの強化



- ・ユニセフ支援活動
- ・フェアトレード



- ・自動発注
- ・セミセルフレジ

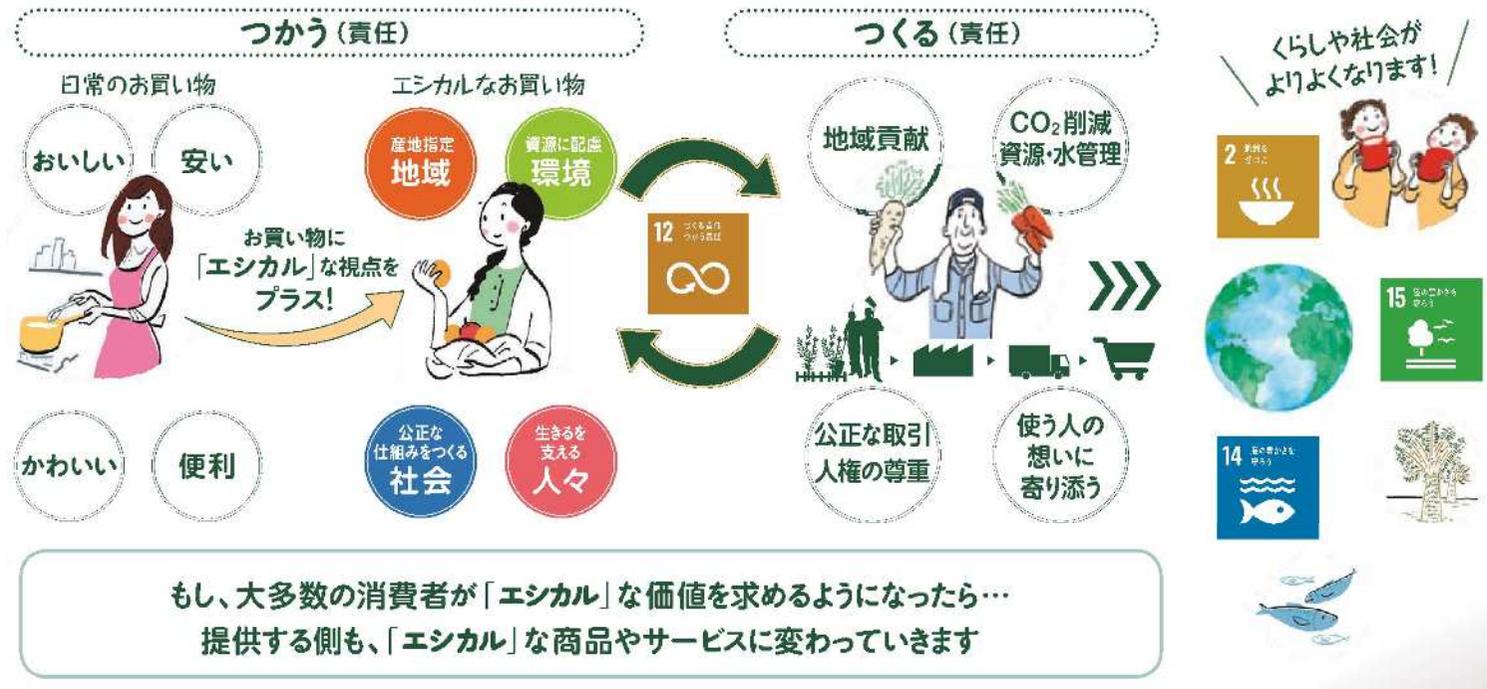


2、京都生協でのSDGsの取り組み



エシカル消費

- エシカル消費とは、買い物をするときに自分視点だけでなく、環境や社会など他社への視点をプラスする消費のことです。
- 生協ではこれを「誰かの笑顔につながるお買い物」と表現し、「地域」「環境」「社会」「人々」の4つの視点で進めています。

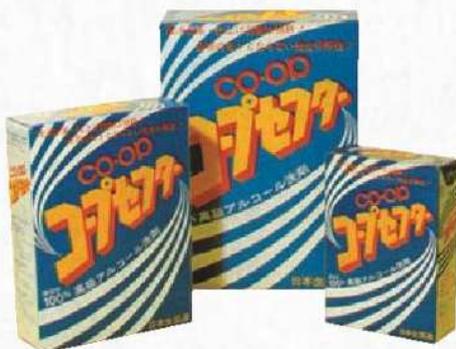


コープ商品とエシカル

コープ商品は長い歴史の中でエシカル消費に向き合ってきました

1969

環境に配慮した
洗剤「セフター」発売



1970

産直の取り組み



1990

ステイオンタブ飲料缶発売



昔のプルタブ缶



現在のステイオンタブ缶

2010

CO・OPコアノンスマイルスクール
プロジェクトスタート



エシカル消費対応商品の一例

エシカル消費対応商品取り扱い点数

2022年度2,536万点（前年比110.1%）

● 海のエシカル



CO-OP 無着色ひとくち辛子明太子(切り)

CO-OP 白身魚とタルタルソースフライ

● 森のエシカル



CO-OP ミックスキャロット

CO-OP アーモンドリーフ

CO-OP 減塩即席みそ汁 いろいろ30食 (生みそタイプ)

プラスチック問題のエシカル

生協で回収したペットボトルを 包材の再生プラスチックの一部に使用します！

- 生協で回収したペットボトルをコープ商品の軟包材へとリサイクルしていく取り組みを全面的に拡大していきます。
* 京都生協で回収したペットボトルも入っています
- 2023年3月よりレトルトビーフカレーを広げ、その後ペットボトルから再生したフィルムを使用している包材全体への拡大していきます。

CO-OP ビーフカレー

CO-OP ビーフカレー 辛口

CO-OP ビーフカレー 中辛

CO-OP ビーフカレー 甘口

このフィルムが使用されるコープ商品の軟包材については、「生協で回収したPETボトルを、この袋の再生プラスチックの一部に使用しています」との表示を入れていきます。

生協で回収したPETボトルを、この袋の再生プラスチックの一部に使用しています。

京都市との「『エシカル消費』普及促進に係る連携協定」に基づく取り組み

- エシカルな商品を探せ！クイズラリー
- 京都市「エシカル消費」ポータルサイトへの掲載
- お買い物袋持参キャンペーン「マイバッグ持参をテーマしたイラストとキャッチコピー募集」



はじめよう。
マイバッグから。
エシカル消費。



キャッチコピー
石井 彩加 様
イラスト
松本 様

お買い物×SDGs～イラスト＆キャッチコピー～
たくさんのご応募ありがとうございました！

応募数 118作品	キャッチコピー 65作品	イラスト 53作品
--------------	-----------------	--------------

今後ともマイバッグ持参のご協力をお願いいたします

※イラストはSDGsの目標を表現し、アフィリエイトを目的としたものはご応募できません。2021年11月現在、応募は「エシカル消費」ポータルサイトにて公開されています。

主催：京都生活同組合、京都市

食品ロス削減～フードドライブ～

家庭で使いきれない賞味期限内の未使用食品を持ち寄り、それをフードバンク団体と通じて必要とする方々へ提供する仕組みです。

- **開催店舗数** 17店舗 / 18店舗中
- **総回収量** 7,536kg
- **実施日** コープの日の土曜日・日曜日
6月からは、第3火曜日、翌水曜日も

- **提供団体**
こども食堂や
フードパントリー
母子支援施設など



食品ロス削減～てまえどり、食品リサイクル～

● てまえどり

店舗ではお買い物の商品を手前から消費する「てまえどり」を推奨しています。すぐに食べる物は、てまえの賞味期限が短い商品をえらんでいただくことで食品ロス削減につなげています。

秋の総代懇談会では「私にできるエシカル消費行動」をテーマに秋の総代懇談会で交流を行い、「すぐに使うものは『てまえどり』をいしきするようになった」など、組合員と取り組む食品ロス削減の活動として広がっています。

● 食品リサイクルの取り組み

店内調理時の食品残渣を堆肥化などでリサイクルしています。

食品リサイクル率 42.9%

食品リサイクル率の向上を目指して、リニューアルオープンしたコープ二条駅に、削減型生ごみ処理機を導入します。



プラスチックの削減

● 目標

- ・ 使い捨てプラスチック製容器・包材の使用量を2030年までに2018年度比で25%削減します。
- ・ 2025年にレジ袋の有料配布をとりやめます。
- ・ 2030年までに宅配内袋・注文書セットのリサイクル回収率40%を達成します。

● プラスチック包材の素材変更

- お買い物袋持参率93.0%、
レジ袋削減枚数1,153万枚

- 宅配内袋のリサイクル
回収量 34.9 t (前年比119.4%)

ロールパンなどのクロージャー廃止・
おでんなどの巾着廃止

ブラウンサーブロールなど、ロールパンのクロージャーを廃止し、
袋のサイズを縮小しました。

CO-OP ブラウンサーブロール
クルミ(半焼きタイプ)

ブラウンサーブロール7品で
年間約**2.7トン**の
プラスチック削減
※2021年12月21日～
2022年12月20日の実績による



人や産地とのつながり

- **Coop Fan Meeting**

組合員と生産者の集いを「もっと知って
もっとつながる～COOPで推し活～」
をテーマに、オンライン配信と会場開催
にわけて実施しました。



- **子育て応援**

京都府在住の1歳未満のお子さまがいる家庭
に、離乳食などをお届けする「はじまるばこ」
などで、子育て支援を行っています。



- **持続可能な生産の推進**



さくらこめたまご 1個につき
1円が飼料米と生産者の
応援金に

供給 337,491パック、7,812万円
応援金 約302万円

● KYOTO COOPアプリ

すべてのサービスがデジタルで融合されたスムーズな購買体験の提供を目的に、開始しました。

特徴／Web注文、スマートレシート、きょうまるペイ



● 商品パッケージリニューアル

京都生協のブランドロゴにある「3つの輪」と「協同組合原則」の7つの原則を表す「7つの輪」を組み合わせたデザインを使用しています。新パッケージには「スタンダード」と「京の老舗」の2種類があり、商品の多様性、商品を通じたつながり、自由で楽しいイメージを持っていただけるようなこだわりが詰まっています。



- **高齢者等の見守り活動** 協定数23自治体 / 26自治体

- **お買い物サポート**

- **おかいものサポートカー**

組合員の暮らす地域と店舗を結ぶ、
登録制の送迎サポートサービス

- **移動店舗 おかいもの便**

店舗を拠点とし運行する移動販売サービス



- **社会貢献活動 助成金制度**

京都府を拠点にSDGsに貢献するNPO等の団体を支援するための助成金制度

9団体 200万円

ハンド&ネイルケアボランティアチーム ガンチー
公益財団法人 ソーシャルサービス協会ワークセンター
特定非営利活動法人 フードバンク京都
藪の傍
特定非営利活動法人 京都DARC (ダルク)
NPO法人 献血と骨髄バンクの和を広げる会
洛西子ども食堂実行委員会 ふれあい食堂けやキッズ
五感で学ぶ料理教室 ククラボ
特定非営利活動法人 健康づくりお助け隊チームファイン

● ライフスタイルに合った職場環境づくり

子育てや介護といったライフサイクルの変化にも対応できる制度の推進に力を入れています。特に子育てをしながら働ける職場環境づくりを目指し、男性の育児休業取得率も増えています。

**制度／育児休業取得者、育児時短利用者、
男性育児休業取得率、シニア嘱託職員**

● 育児時短の期間を小学校卒業まで延長

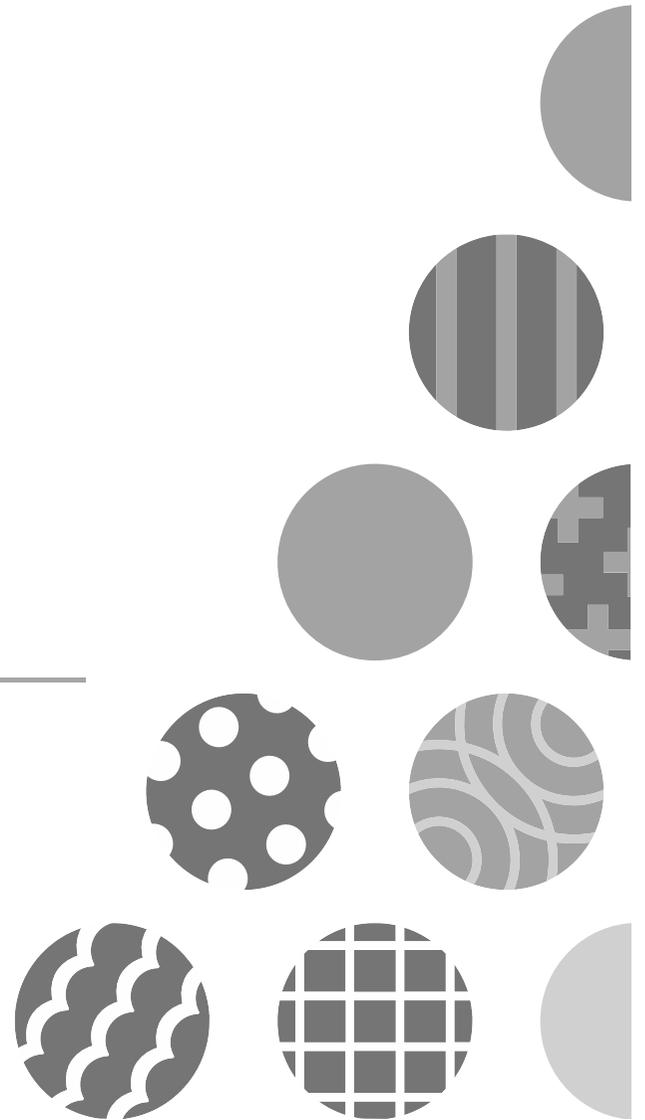
子どもを育てる職員が、子どもが小学校に入学するまでから卒業するまで、取得可能な育児時短勤務の期間を延長しました。

● 障害者雇用優良事業所 表彰

ハートコープきょうとが令和4年度京都障害者ワークフェアにて「障害者雇用優良事業所表彰」を受賞しました。



3、脱炭素の取り組み



京都生協における環境保全の取り組みの歩み

- 1991年 環境政策を決定
- 1996年 京都生協の環境マネジメントシステムを導入
環境報告書を作成
- 2002年 環境マネジメント国際規格 ISO 14001 取得
事業活動での環境保全の推進
- 2009年 業務マネジメントシステムに統合
- 2011年 3回目の更新審査、ISO 14001 の認証保持
- 2014年3月 ISO 14001 を返上
- 2014年10月 KESステップ2SR(第2版)の認証取得
- 2022年 KESステップ2SR(第3版)の目標管理を開始
9月の審査で規格更新

**⇒KESの環境マネジメントシステムを活用し、
毎年KES審査を受けています。**

<理念>

京都生協は、「頼もしき隣人たらん」と2030年ビジョン「京都生協は新たな希望をつくる」のもと、人間と環境との調和をベースに自然と社会の仕組みを相互関連の中で総合的に捉え、「**持続可能な社会の実現への貢献を最大化**」することが最重要課題のひとつであることを認識し、全組織をあげて環境負荷の低減をはじめとするS R（社会的責任）活動の向上に努力し、**SDGs（持続可能な開発目標）の実現**に貢献します。

<基本方針>

京都生協は、食料品・日用品を中心とした商品の供給及び共済、福祉等のサービスを組合員に提供していることをふまえ、次の方針に基づきS R ・ 環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。

S R・環境方針〈基本方針・抜粋〉



- 1、当生協の事業活動、商品及びサービスに係る「持続可能な社会の実現への貢献を最大化」を意識し、改善活動の幅を7つの中核主題に広げ、S R・環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
- 2、当生協の事業活動、商品及びサービスに係るS R・環境マネジメント活動に適用される法的及びその他の要求事項を順守します。
- 3、当生協の事業活動、商品及びサービスに係るS R・環境影響のうち、**7つの中核主題「組織統治」「人権」「労働慣行」「環境」「公正な事業慣行」「消費者課題」「コミュニティへの参画及びコミュニティの発展」**の項目を**S R・環境管理重要テーマ**として取り組みます。
- 4、一人ひとりがS R活動の向上・実践できるように、このS R・環境方針を全役職員に周知し、一般の人々が入手できるようにします。
- 5、組合員によるS R・環境改善活動に積極的に取り組み、日々の消費のあり方が持続可能な社会の実現に多大な影響を及ぼすことへの自覚を広げます。地域のS R・環境改善活動にも積極的に参画します。

S R ・ 環境目標



中核主題	2022年度の目標	2022年度の取り組み	評価
1 組織統治	コンプライアンスの周知徹底	職員へのCSR教育とアンケート、取引先アンケートにより、コンプライアンスを周知徹底した。	A
2 人権	障害者雇用率3.75%	障害者雇用率は3.74%と、ハートコープきょうとでは1名増だが、退職などで目標を僅かに下まわった。	B
3 労働慣行	業務改善提案・報告件数43件	業務改善提案・報告件数は、51件となり、目標比118.6%となった。	A
4 環境	CO ₂ 排出総量の削減を、2021年度比97%	CO ₂ 排出量は、7,716tで前年比91.8%となり、目標比105.7%となった。	A
	使い捨てプラスチック製容器・包装の使用量を2018年度比1%に削減	使用量は414,153kg、2018年度比108.7%となった。供給高の伸長に伴い、使用量が増加した。	B
	リサイクル回収総量2021年度比98%	リサイクル回収総量は4,577t、目標比99.4%、前年比97.4%となった。トレー、内袋で回収が増加した。	A
5 公正な事業慣行	エシカル消費対応商品の供給数を2021年度比98%	エシカル消費対応商品の総利用点数は、約2,536万点（前年比110.1%、目標比112.4%）となった。	A
6 消費者課題	店舗のフードドライブ実施店舗数を1店舗増	フードドライブの実施店舗が、3店舗増加した。	A
	食品リサイクル率の向上に向けた調査研究	他生協などを事例調査し、「課題と今後の方向性の進捗」を報告したが、まとめ作成に至らなかった。	C
7 コミュニティへの参画・発展	研修受け入れ・学習会の開催80回	学習会、事業所見学などの年間活動総数は101回となった。	A

2030年までにグループのCO₂排出量を 2013年度比40%削減することを目指します。

1. 削減計画を達成するために、事業所設備の省エネ化、太陽光自家発電・自家消費、CO₂排出係数の低い電気の購入の施策を実施します。
2. 削減目標は技術の進歩や社会情勢および事業活動を考慮して3カ年ごとに見直します。

⇒ CO₂排出量削減は、単年度目標・中期目標に加えて長期目標を策定しCO₂排出量削減に取り組んでいます。

● 店舗設備の省エネ化で消費電力を抑制



保冷効果を高めるために
ナイトカバーをかける



扉付きの冷凍庫を導入して
庫内温度を保つ

- ・ 冷蔵・冷凍ケースの使用電力のLED化
- ・ HACCPでの温度管理なども



●太陽光発電パネルの設置と活用

本部や店舗、支部（宅配配達センター）の設置可能な事業所の屋上に、太陽光発電パネルを設置しています。

その一部で、太陽光の自家発電・自家消費をすることで、CO₂排出量削減に取り組んでいます。



コープ山科新十条



南丹支部

● 宅配の配達コースの見直し

配達ルートを見直し、効率的なルートに改善していくことで、CO₂排出量を抑制する取り組みを行っています。

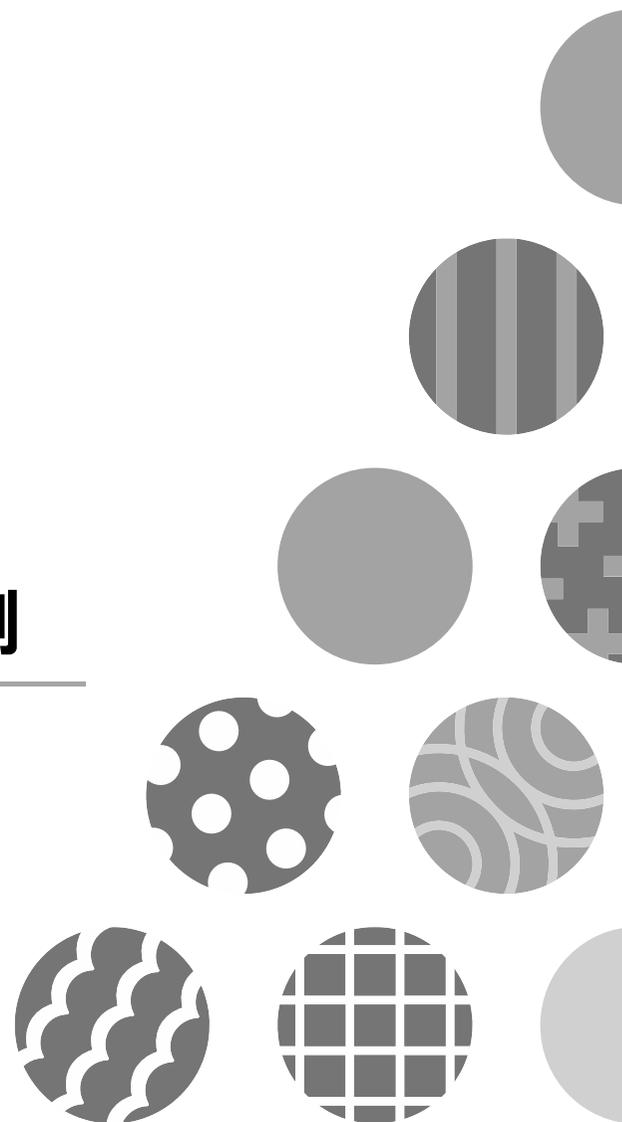
2022年度は、CO₂換算で前年比98.9%でした。



● EV車の使用

営業車の一部に電気を使用するEV車を使用しています。

4、コープニ条駅での取り組み事例



コープ二条駅 リニューアル概要



住所 京都市中京区西ノ京星池町230
電話番号 075-811-2286
営業時間 9:00 – 22:00
定休日 1/1 – 1/3
駐車場 95台 * EV用急速充電器2台設置

- 4階建て構造
 - 1F ; コープ二条駅 * 売場面積421坪
 - 2F ; 無印良品 * 売場面積428坪
 - 3F ; コープ葬クオレ、駐車場
 - 4F ; 駐車場

2023/11/17 Grand Open

店舗コンセプト 「ゆたかで たのしく おいしい エシカルマルシェ」

● エシカル、エコ、健康

「バラ売り、量り売り」などSDGsを意識した売り場づくりと品揃えを進めます

● 子育て層へのアプローチ

即食・簡便・時短・アレルギー対応商品などの品揃えを強化します

● 地域との連携

地元「京都」でのつながりを大切に、楽しく豊かな買い物空間を目指します

<設備>

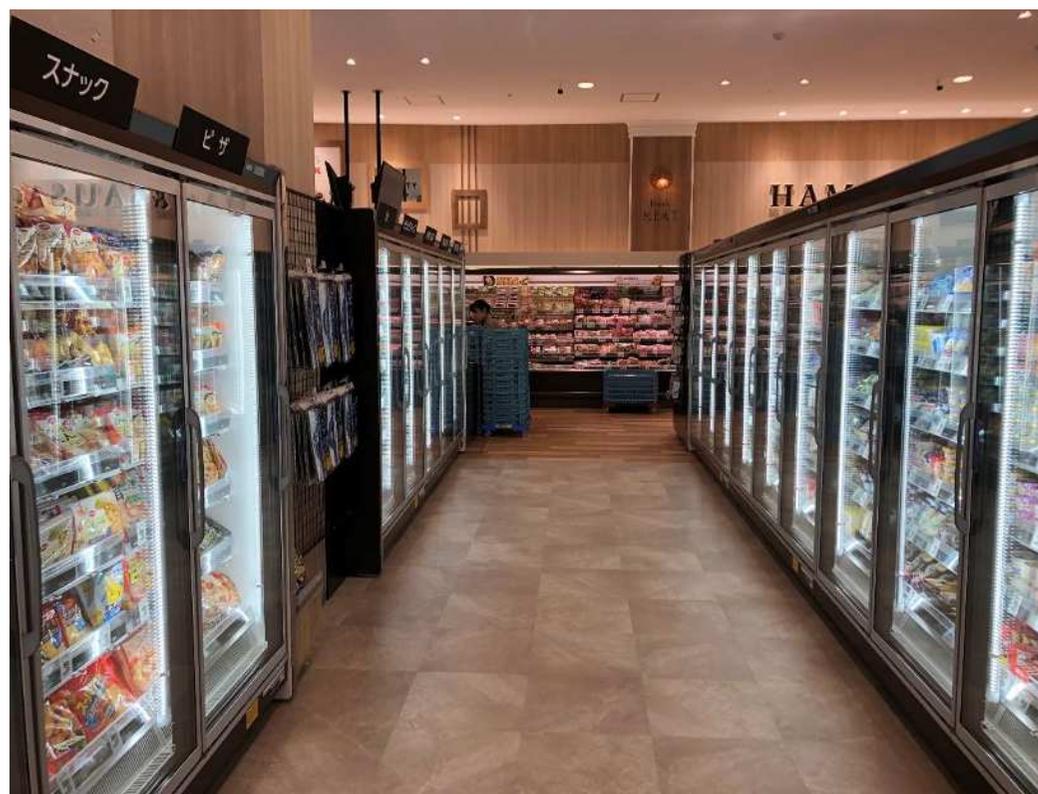
● 自然冷媒の設置

現在、支部での冷凍・冷蔵倉庫や店舗でのショーケースは、ノンフロンガスによる自然冷媒機器を5支部・2店舗で導入しており、新たにコープ二条駅にも設置しました。

【目標】

下記の導入を目指しています。

- 支部「主要冷凍冷蔵機器のうち、今後新規導入する機器の100%を自然冷媒機器」
- 店舗「新店舗および冷凍機更新を伴う全面改装店舗数の50%以上に自然冷媒機器」



● 京都の木材（みやこ杉木）

京都市内産木材を使った内装として風除室内装壁と店内柱の一部に京都市内産材「みやこ杉木」を使っています。

京都木材協同組合とのつながりから京都市域産材供給協会の「みやこ杉木普及促進事業」に参加しました。

地元の木の使用は運搬距離が短くなり、運搬時に排出されるCO2も減らすことが可能となります。

さらに地域の林業の担い手を支援することにつながるため、採用となりました。



← 2階のフリースペース
KYOTO Co-Lab（きょうところぼ）
では、京都府産の木を使っています。

●太陽光発電

太陽光の自家発電・自家消費をし、年間見込発電量は、約11万kwh/年を想定しています。



●電気車輛の充電設備

E V車で来店しやすいよう、急速充電器を設置することで、普及を推進しています。

●消滅型生ごみ処理機

生ごみを微生物の力で生分解する機器を導入します。店舗内で生ごみ処理を行うことで、食品リサイクル率の向上と廃棄に係るCO₂排出量を削減します。



※シンクピアHPより



コープ二条駅での脱炭素の取り組み

＜プラスチック削減・ごみ削減＞

●量り売り、ばら売りの展開

プラスチック削減、食品ロス削減のため、ほしい分だけを紙袋にいれて購入するシステムを拡大しました。ごみを減らすことで、廃棄に係るCO₂排出量を削減します。



●エコトレーの使用

リサイクル回収したペットボトルから作られたエコトレーを、総菜、水産の売り場で使用しています。原油から新しく作るトレーにくらべると、CO₂の排出量を30%抑えることができます。

●リサイクルの推進

店頭のリサイクルBOXを設置し、リサイクルを推進することで、家庭での廃棄に係るCO₂排出量を削減します。



コープ二条駅での脱炭素の取り組み

<商品展開>

●地産地消

「地元の新鮮な野菜を食べたい」という組合員の願いから地産地消売り場を設置しており、京都生協全店で約170軒の地域の農家さんと契約しています。地産地消は、フードマイレージの観点での効果もあります。



●エシカル消費対応商品の品揃え

地域や環境、社会や人々に配慮した「エシカル消費」のコーナーを展開しています。

産直・地産地消・京都産品や、オーガニック・国産素材などの品揃えを増やします。



●きょうされん

「きょうされん（共同作業所）商品の取り扱いがあれば利用応援したい」という組合員の声を受けて、コープ下鴨・コープさがのに続き、コープ二条駅でも取扱いします。



KYOTO
COOP

